

令和2年度学校評価実施計画

学校名 大分県立宇佐支援学校

前年度評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○授業計画シートや略案シートにより授業を行い、共同授業者で授業評価ミーティングを行ったことで、年間指導計画等への反映を行うことができ、教職員一人一人が大きなPDCAへの意識を持つことができた。 ○2度の防災訓練での避難所運営に係る防災教育や市役所との協議等により、避難所運営マニュアルを完成させ、災害時の学校体制や初動体制の意識を高めることができた。 ○保護者や関係機関と支援者ミーティングを行うことで、児童生徒の課題等を共有し、個別の教育支援計画へも反映できた。また、各学部で地域の特色ある講師を招く、学校間の交流及び共同学習を行うなどして、つながりを持つことができた。 ●学校教育目標を全職員で共有し、授業実施及び評価の視点を明確に持つことで、一人一人の教職員が授業を改善できた実感を持つとともに、学部間の授業に系統性をより持たせる必要がある。 ●避難所運営についての教職員一人一人の初動体制を徹底するとともに、保護者への引き渡し訓練等、さまざまな災害時のケースを想定した防災訓練を実施し、防災体制を強化する必要がある。 ●支援者ミーティングを地域と連携して児童生徒の将来を見据え、高められる内容に改善する。また、外部講師等、地域の資源活用にあたっては、学校教育目標にそって学部間の系統性を高める必要がある。
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、個々の能力・特性に応じた適切な教育を行い、生きる力を育むとともに、自信をもって社会参加・自立をめざす明るく豊かな心を持った人間の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○「人権尊重の視点」を活用した授業実践及び進路指導 ○生徒指導・防災・緊急時対応マニュアルの完備と実践 ○地域・関係外部機関との連携強化と積極的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○つきたい力を明確にした授業実践 ○災害時に対応できる学校体制の構築 ○家庭や地域、関係機関と連携した児童生徒の育成

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
○つきたい力を明確にした授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・身につけたい力「みとめる」「つながる」「やりとげる」を盛り込んだUSAスタンダードの完成。～授業評価ミーティング200回実施～ ・各学部重点目標の見直しと改訂3件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部の重点目標をキーワード化して分析し、身につけたい力を共有した授業実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標及び学部重点目標をキーワード化して全教職員で共有。(4月中) ・つきたい力を視点とした授業評価ミーティングの実施。(週1回) ・つきたい力をもとにした授業実践の評価によるUSAスタンダード(本校授業の指針)の改訂。(1月) 	PL: 研修部 SL: 教務部 主幹教諭
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価の蓄積を教育課程及び年間指導計画の改善につなぐための組織を構築した実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等での実践を年間指導計画へチェックしたものを集約。(8月及び12月中) ・教科・領域担当者会議における教科横断的な視点での見直し。(年3回、1月) ・カリキュラム・マネジメント推進委員会における年間指導計画の改善案をもとにした学部重点目標の改訂(1月中) 	PL: 教務部 SL: 研修部 主幹教諭
○災害時に対応できる学校体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の初動対応が理解できたと答える保護者100%。(アンケート等への回答者を母数とする) ・在宅時、通学時(スクールバス、自転車)の防災対応のマニュアル策定100%。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員へ学校防災マニュアルについて周知し、在校時からの引き渡し訓練、帰宅困難児童生徒への対応訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営研修の実施及び未実施分野の防災訓練の確認。(4月中) ・引き渡し訓練の立案及び保護者説明。(5月中) ・引き渡し訓練への保護者参加及びアンケートの実施。(6月) ・災害時帰宅困難な児童生徒対応訓練、防災教育後の保護者アンケートの実施。(12月中) ・完成版学校防災マニュアルの改訂。(1月中) 	PL: 生徒指導部 SL: 特別活動部 主幹教諭
		<ul style="list-style-type: none"> ・在宅時、通学時(スクールバス、自転車)の防災訓練及び防災教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施可能な防災訓練の内容を確認・決定。(7月中) ・在宅時、スクールバス・自転車通学時に災害にあった場合のマニュアル及び防災教育案の策定。(8月中) ・教職員によるシミュレーション及び防災教育の実施。(9月中) ・防災訓練への保護者参加及び防災教育の実施。(12月中) ・保護者マニュアルの説明・周知。(12月中) ・課題をもとにしたマニュアル案の改訂。(1月中) 	PL: 生徒指導部 SL: 保健部 主幹教諭
○家庭や地域、関係機関と連携した児童生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・小1、小4、中1、高1における支援者ミーティングでの長期目標の改善及び児童生徒・保護者との共有10件以上。 ・学部間のつながりを意識した地域連携の年間指導計画への位置づけ各学部2件以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者ミーティングの実施内容の見直し。 ・個別の教育支援計画への反映、児童生徒への授業改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者ミーティングの内容・実施方法の検討・決定。(4月中) ・保護者、関係機関等への実施方法及び目的の説明、周知。(5月中) ・対象児童生徒のミーティングを全員実施。(10月中) ・児童生徒の進路や長期目標に係る計画や授業への反映事例10件以上。(1月中) 	PL: 教育支援部 SL: 進路指導部 主幹教諭
		<ul style="list-style-type: none"> ・「みとめる」「つながる」「やりとげる」の身につけたい力をもとに、各学部で地域連携を実施・評価・改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つきたい力をもとに、地域連携年間計画案を作成し、各学部のねらいを共有。(5月中) ・地域連携マップの作成。(6月中) ・新規地域連携先の開拓5件以上。(12月中) ・地域連携を取り入れた授業実践を各学部2件以上。(12月中) ・学部の重点目標に照らして地域連携を評価。次年度年間指導計画への位置づけ(1月中) 	PL: 主幹教諭 SL: 人権教育部 特別活動部 進路指導部